

美容医療への意識が変化

美容誌で「美容医療」がクローズアップされるようになってから約20年。その当初は「シミ取りレーザー」や「プチ整形」といった肌や顔に悩みを持つ女性の心をつかむようなキーワードが大きな話題を呼び、雑誌やテレビでも大変な盛り上がりを見せた。

とはいえ、すぐに一般的になったかといえはそうではない。日本人は「顔に手を加える」という行為に抵抗感を持つ人も多く、メスを使わないレーザーやフォト(光)治療な

TEXT: YUKO KANEKO

どの美肌治療でさえも大きな声では言えない秘め事として扱われてきた期間が長い。

しかし、時代は大きく変わった。いまや、埋没法(糸を使ってまぶたを留める二重術)やレーザー治療などを宣伝する美容医療のテレビCMを見ない日はない。その宣伝効果と業界に巻き起こった価格競争による低価格化が相まって、美容医療は日常的なスキンケアやメイクアップ、またはその延長に近い感覚になり、急速に広まってき

ている。SNS全盛の時代において、分かりやすい変化を得られる美容医療は一般消費者に影響力のあるインフルエンサーたちにとって大きな関心事となっている。そして、SNS上で治療の経過や結果を公開する人も続々と現れている。

このように、美容医療に対する世の中の認識は大きく変化しているが、日本美容外科学会が行った「第1回全国美容医療実態調査」によると、2017年の施術件数はいわ

ゆる「整形」といわれる外科的治療が27万8507件なのに対して非外科的治療は1630万2738件と、圧倒的に非外科的治療が多い。非外科的治療では、1位が脱毛、2位はボトックス注射、3位はヒアルロン酸注射という一般的に認知度が高い治療が上位を占めている。脱毛は美容医療初心者の入り口となる定番施術として、今回取材した多くのクリニックで不動の人気を得ていた。

脱毛を除くと、2位のボトックスと3位のヒ

最新・人気のパ

20代

加工写真に実物を似せたいと願う SNS時代ならではの治療ニーズ

10～20代の自撮り世代は、自分の顔写真を加工し、「盛る」という行為が当たり前になっている。加工した写真の肌は毛穴ひとつなく、目は人形のように大きい。鼻筋も通り、顔は驚くほど小さい。加工を施した顔に自身も見慣れているため、実際に鏡を見た時に「何か違う」と自身の顔に違和感を覚え、美容医療を選択する人も少なくない。今回取材をした医師からも同じような若い世代の来院理由が聞かれた。そのため、この世代には、加工した顔写真と現実の穴埋めをするような治療の人気の高いという。その中でも人気がある

のが小顔ボトックスだ。メスを使わず、ほぼダウンタイム(施術を受けてから回復するまでの期間)もない。そのほか「クレオパトラノーズ」といわれる、特殊な糸を使った隆鼻術も異物感のない自然な仕上がりや傷痕が残りにくいリスクの低さから注目度が上がっている。「人中(唇上部の溝)短縮」「ピコレーザー(メラニンを減らす、シミや肝斑の治療法)」など、旬なビューティキーワードにも敏感だ。ヒアルロン酸を注入する治療も依然人気は高く、下まぶたの涙袋形成はメイク感覚で受ける人が増えている。

● 鼻先延長ヒアルロン酸注射 ●

10～20代の女性がかわいさを決定づけるパーツとして注目するのが人中。顔の間延びした印象やのっぺり顔が避けられるとして人中を短く見せる施術が人気だ。衣理クリニック表参道の「鼻先ヒアル(鼻先をスッと美しく伸ばすヒアルロン酸注射術)」も人中を短く見せて「横顔美人な印象を生み出す」と注目を集めている。「鼻根を高くしたい」という要望が多かったが、最近は鼻先をシャープにしたいというニーズが増えている。ただ鼻先は血管が集中するパーツで治療にとっても高い技術を要するため、ほかのヒアルロン酸注射治療ほど取り扱っているクリニックが多くない。そのため、遠方から来院する人も多数いる(片桐衣理院長)。



CLINIC DATA 衣理クリニック表参道

住所：東京都港区北青山3-5-30 入来ビル 4-5F TEL：03-5786-1155 診察時間：10:00～19:00 休日：水曜・日曜 料金：「Dr.衣理式ヒアルロン酸注入(鼻先)」5万円～

